

宮のふれあいトーク&コンサート



第1部 宮のふれあいコンサート

震災で静岡県内に避難した音楽家による、オーボエとピアノの演奏&お話

オーボエ 谷澤 栄一(岩手県釜石市出身 富士宮市在住)

ピアノ 川崎 昌子(岩手県釜石市より静岡市清水区へ移住)

第2部 宮のふれあいトーク

東日本大震災で被災され東北地方から避難している皆さんと富士宮周辺の一般市民の方々との交流会

日 時 平成25年3月2日(土) 午後6時開演(午後8時頃終了予定)

場 所 FUJIVISION(富士宮市民交流会館 西館) 1階 多目的ホール
(神田通り 藤太郎本店 東隣り 富士宮市大宮町8-3 TEL 0544-29-7573)

入場料 無料ですが事前の参加申し込みが必要となります(下記参加申込先参照)



参加申込先
(問い合わせ先)

NPO法人 まちづくりトップランナーふじのみや本舗

〒418-0077 富士宮市東町9-17 TEL / FAX: 0544-23-5733

※お電話かFAXにてお申し込みください(先着順、定員になります次第締め切りとさせていただきます)

【演奏者紹介】

オーボエ 谷澤 栄一(たにさわえいいち)

昭和34年(1959年)岩手県釜石市生まれ。上智大学経済学部経営学科卒業。

卒業後、家業である雑貨卸売業に従事。地元岩手での音楽活動も継続的に行う。しかしながら一昨年3月に発生した東日本大震災の津波で自宅及び会社が全壊し、会社再建の目途が立たないため、妻の実家がある富士宮市に移転を決意する。

現在は富士宮の皆さんのご支援により、一般社団法人富士宮市地域力再生総合研究機構に籍を置き、おもに富士宮市の食による町づくり事業に従事。震災までは地元釜石市の吹奏楽団などでクラリネット及びオーボエの演奏を行っていたが、津波により所持していた楽器も海水に飲み込まれる。数日後、被災した自宅の片隅で奇跡的にオーボエを発見。なんとか自力で修理修復を行い、演奏も可能となった。

現在は富士フィルハーモニー管弦楽団の団員として活動をするかたわら吹奏楽団のエキストラや各種依頼演奏などを富士宮を中心に行っている。

静岡県富士宮市在住。



ピアノ 川崎 昌子(かわさきまさこ)

静岡市清水区出身。常葉学園橘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学卒業。

結婚のため岩手県釜石市に居を移す。釜石市には震災までの27年間在住。その間、ピアノ教室を主宰するかたわら合唱団の伴奏ピアニストを数多く受け持ち、また音楽集団を作りコンサート活動も意欲的に行う。

一昨年の東日本大震災により被災し、全てのものを失ったため、その年の5月に家族全員で静岡市に移住を決意。数多くの方々の支援をいただきながら生活再建をはかり、現在は江尻生涯学習支援交流館にて「江尻コーラス」の指導を行う。

また「四季を歌う会」の専属ピアニストも務める。自宅にてピアノ教室主宰。

静岡市清水区在住。



【プログラム】

いい日旅立ち(山口百恵)
少年時代(井上陽水)
シシリエンヌ(フォーレ作曲)
オーボエ協奏曲二短調より第2楽章(マルチェッロ作曲)
ピアノソロ「愛のあいさつ」(エルガー作曲)
瞳をとじて(平井堅)
情熱大陸(葉加瀬太郎)

…会場の皆様と共に…

花は咲く
(東日本大震災復興支援ソング 菅野よう子作曲)
富士山
ふるさと

【NPO法人 まちづくりトップランナーふじのみや本舗について】

富士宮市の中心市街地を市民のふるさと拠点として、人が集まり、交流する元気な町づくりを目指し、常に先頭をきって行動する市民団体組織。これまでに「富士宮やきそば」「にじます」など特色ある地場産品の発見・PRによる誘客などで食による市街地の活性化を行ってきた。また富士山からの湧水を活かしたビオトープの造成・管理、ICT(情報通信技術)を使った広域連携のまちづくり、市役所ロビーでのランチタイムコンサート等、市民が集い楽しめる事業にも力を注いでいる。

NPO法人まちづくりトップランナーふじのみや本舗の人的ネットワーク及び行政などへの積極的な働きかけをもとに、今回、東日本大震災による富士宮周辺避難者(転居者)の方々との交流事業を開催。富士宮市と被災地を結ぶ食によるネットワークの構築など、今後、被災地支援を視野に入れた新たな活動が期待される。

※この「宮のふれあいトーク＆コンサート」は静岡県社会福祉協議会ふれあい基金の助成を受けて開催されます